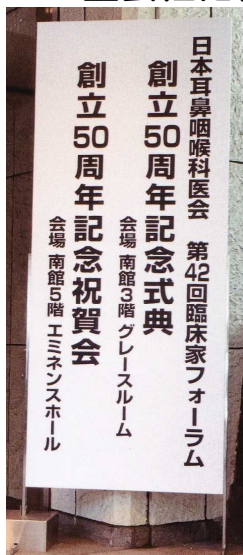




日耳鼻医会 FAXニュース

平成29年7月26日発行 第253号

◎創立50周年記念式典・記念講演会・ 祝賀会並びに第42回臨床家フォーラム 盛会裡に終わる 7月15・16日



(京王プラザホテル玄関前)

7月15日午後4時半より京王プラザホテルにて、塩崎厚生労働大臣、森山日本耳鼻咽喉科学会理事長はじめ、多くの来賓の出席のもと、記念式典が開かれた。

伊東理事長は開会の挨拶で、本医会の成り立ちについて次のように述べた。耳鼻科処置点数減点問題をきっかけとして、昭和42年に日耳鼻学会の指導のもと全国に医会が作られ、その集合体として日耳鼻医連が設立された。点数問題が解決した後も会員の為の事業を続けて来たが、50年間紆余曲折が有りながらも今日まで色々な活動を続けて来られたのは、会員はもとより日本医師会を初めとする関係団体の支援の賜であり、心から感謝すると締めくくった。

続いて来賓の塩崎恭久厚生労働大臣、横倉義武日本医師会会長、森山寛日本耳鼻咽喉科学会理事長、小川郁日本耳鼻咽喉科学会副理事長より創立50周年記念に対する祝辞を頂いた。

次に清水淑郎顧問がスライドを用いて、50年の日耳鼻医会の歩みを紹介。医連が出来た経緯、点数問題で学会との関係が悪化したこと、内部分裂もあり、組織が弱体化し、4000人以上いた会員が半数に減ったこと、組織の立て直しの為にNPO法人になった事などを紹介した。

式典の最後に功労者表彰に移り、被受賞者を代表して、大分の宮本和雄先生、愛知の嶋田六郎先生、東京の藤谷昭平先生に伊東理事長より感謝状が贈られた。被表彰者を代表して嶋田六郎先生が謝辞を述べた。

午後5時45分より記念講演が行われた。国立病院機構東京医療センター名誉臨床研究センター長加我君孝先生が「先天性難聴児および高齢者の難聴と人工内耳手術～聴覚の獲得の成果と課題～」と題して、これまで多くの人工内耳手術を行った経験を元に、聴覚言語能取得の術前と術後のデータやビデオを供覧して、難聴児のみならず高齢者の難聴にたいしても人工内耳が有用であるということをお話され、50周年記念に花を添える講演であった。

鈴木副理事長が閉会の辞を述べ、記念式典・記念講演は終了、会場を移して祝賀会が午後7時より開かれた。

祝賀会は、武見敬三参議院議員、羽生田たかし参議院議員、自見はな子参議院議員を迎えて行われた。理事長挨拶の後、議員より祝辞を頂き、坂口東京都耳鼻科医会会長の乾杯の音頭で祝宴が始まった。

祝賀会の途中で、第1回から第42回までのフォーラムのプログラムなどをまとめた「フォーラムの歴史」と題したスライドが供覧され、また、「フォーラムの思い出」を数名の会員に話して貰ったが、改めてここまで続いたフォーラムを今後も継続していくべきと言う意見が多く聞かれた。最後に阿部副理事長の閉会の挨拶で祝賀会は終了した。

「フォーラムの歴史」は製本化して参加者に配布した。

翌日16日、午前11時15分より日経ホールでフォーラム記念公開講座が開かれ、日本医師会常任理事の釜范敏先生が「耳鼻咽喉科と地域医療体制」と題して講演を行った。特に耳鼻科医の数はここ数年横ばいであるが、20歳代から50歳代の耳鼻科医が減少しており、将来が危惧されると話された。また日医のかかりつけ医制度や地域医療計画、専門医制度についても言及された。

公開講座の後、懇親会が開かれ、日耳鼻医会としてのフォーラムは今回が最後であるが、新しい全国組織の耳鼻科医会でも引き継がれるようにと願って一本締めを行い、全てのプログラムは終了した。

『お礼』

東京都耳鼻咽喉科医会 会長 坂口 文雄
日耳鼻医会副理事長・実行委員長 中澤 宏

第42回臨床家フォーラム、そして創立50周年記念式典・祝賀会を東京で行わせて頂きまして大変光栄に存じます。また盛会裡に終わる事ができてほっとしております。今回「フォーラムの歴史」の冊子を作成致しました。皆様の記念になれば幸いです。

ご協力頂きました皆様、そしてご出席下さいました方々に心から感謝しております。誠にありがとうございました。

◎東京都耳鼻咽喉科医会学術講演会・ 講習会開かれる 日経ホール

7月16日(日)午前9時より日経ホールで多くの会員が参加して、専門医共通講習(医療安全講習・必須項目)「アレルギー診療に対する安全対策」を日本医科大学教授大久保公裕先生が、また耳鼻咽喉科領域講習「慢性感音難聴診療の最前線」を慶應義塾大学教授小川郁先生が講演された。小川先生は講演の中で、難聴者を取り扱った漫画「寂しいのはアングだけじゃない」(吉本浩二著作・小学館 552円+税)を紹介した。なお、第2巻には小川先生ご自身が登場する。

◎臨時都道府県代議員会・臨時総会を 9月18日(月・祝)に開催

来年7月の新しい全国組織の耳鼻咽喉科医会設立に向け、日耳鼻医会としてそれに間に合うように種々の手続きを行うために、第1回全国耳鼻咽喉科医会連絡協議会開催予定日の翌日に臨時総会を行うことにした。併せて医会長協議会も行う予定。

記

期日：平成29年9月18日(月・祝) 12時より
会場：ベルサール八重洲(東京駅近く)
議題等は後日お知らせ致します。

選択的ヒスタミンH₁受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 薬価標準収載

タリオン 錠5mg・10mg
OD錠5mg・10mg

TALIION[®] Tablets 5mg・10mg (日本薬局方 ペボスタチンペシル酸塩錠)
TALIION[®] OD Tablets 5mg・10mg (ペボスタチンペシル酸塩口腔内崩壊錠)

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元(権利譲渡先) 田辺三菱製薬株式会社
大塚市中央区薬師町3-2-10

プロモーション提携 帝国内製薬株式会社
香川県高松市丸の内三本松567番地

2017年6月作成

発行 (特)日本耳鼻咽喉科医会
〒104-0031東京都中央区京橋2-11-8全医協連会館5F
TEL(03)5524-5230 FAX(03)5524-5228
HP: <http://www.jenti.or.jp> E-mail jimu@jenti.or.jp